

図書館報

2024 AUTUMN No.67

# SEASON



写真：中央図書館 SRP 企画展示の様子

ISSN 1349-3760

2 コラム「創価教育」の原点「1968年」を読む  
法学部 松田 健児 教授

4 特集 SRP 活動の記録 2024  
「SRP スペシャルインタビュー」

6 中央図書館 最近の企画展示

7 ミニコーナー ある図書館の日常

8 図書館掲示板

# 創価教育の原点「1968年」を読む 法学部 松田健児 教授

1968年は創価中学・高等学校が4月に開校した年でした。国内では大学改革、学費値上げ反対を求める紛争が諸大学に波及し、ベトナム戦争への反戦運動、反米闘争が澎湃として生じました。同年9月26日には、患者の公式確認以降12年間も見て見ぬふりをされてきた、強い中枢神経毒性を有する有機水銀による生態系の損壊によって惹き起こされた水俣病が石油化学への転換に伴いアセトアルデヒド製造が停止されるや一転して厚生省(当時)の水俣病に関する政府統一見解により公健法上の公害病と認められました。同年秋、筆者は、当時通学していた熊本のある中学校の学級会で、政治的に早熟な一級友が水俣病は単なる公害問題ではなく殺人事件であると(趣旨)言ったことが凡庸な2年生にとつて非常に強烈な印象として残っています。世界においては、アメリカのテト攻勢によるベトナム戦争における敗戦の始まり、M・キング牧師暗殺と黒人暴動、フランスにお

ける第2次世界大戦後のドゴールの権威主義に抵抗した若者の、5月革命、チェコ(当時)における人間の顔をした社会主義を探索する自由化とソ連(当時)によるその圧殺、また、4害駆除運動による生態系破壊に象徴される大躍進政策の失敗を隠ぺいする毛沢東による中国の文化大革命が生じた年でした。

創価教育は、中等教育における実践によって1968年4月に開始しましたが、1971年4月に創価大学の開学により高等教育段階を、1978年4月には、東京創価小学校の開校により初等教育の段階における実践をも含む教育に展開しました。創価教育は、高等教育段階においては「人間教育を旨とし、豊かな人間性を基盤として、人類が直面する個々の問題に真摯に取り組む、智慧を発揮していく創造的人間」(創価大学ホームページ)の育成を実践しています。開学前の1969年5月3日に、創立の精神をなす建学の基本理念は創立者池

田大作先生によって3個のモットーとして提示されました。創価大学の出来事の只中で構想され、準備され、設立されたという歴史的事実は、現在、本学において探求されている建学理念の実現のための諸アプローチを照らし出すものとなるように思えます。

1968年の様々な出来事は、やがて1990年代以降21世紀初頭において、時代としての「1968年」をなすものとして論じられるようになります。本学図書館が所蔵する図書の中に次の様な「1968年」論を見ることが出来ます。「1968年」論をタイトルに掲げた最初の図書は、おそらく、1995年2月刊行の岡本宏編『「1968年」時代転換の起点』です。本書は、1968年を中心とする大学紛争に参加したいわゆる「全共闘世代」に属する研究者の論考を収録しています。特に、冷戦体制の解体の端緒となり現在のグロー

バルシステム形成の転機となった「1968年」の時代的画期性を世界的に論じた岡本宏「時代転換における『1968年』の画期性」、および、1968年を中心とする学生反乱に見られた近代批判の思想的意味を検討した岩岡伸正「思想史における『1968年』―『近代』をめぐって―」が注意を惹きます。以後、「全共闘世代」の沈黙が続く中、21世紀初頭の2009年7月、1962年生まれの小熊英二氏によって著された『1968【上】若者たちの叛乱とその背景』と『1968【下】叛乱の終焉とその遺産』が刊行されます。同氏は、1969年にピークを描く全共闘運動による大学紛争を1971(2年の連合赤軍事件を経て思考停止状態に陥った、自分探し、と分析しています。2008年には、1955年生まれのリベルト・フライによって、なぜ1968年に西欧世界のいたるところで若者の反乱が起きたかを分析した『1968年 反乱のグローバルリズム』(邦訳2012年)が刊行されました。同書は「1968年」を政治的、

社会的、文化的(殊に、ポップカルチャーによる)転換を歴史的に初めて全球的にもたらしたと位置付けています。最後に、世界的に同時多発的に起こった若者の反乱の非体験世代によって、保守・リベラルにこだわらずに「1968年」の歴史的学的全体像を描く西田/梅崎編著『グローバル・ヒストリーとしての「1968年」』が2015年に刊行されました。本書は時代としての「1968年」を学ぶ格好の歴史学のテキストとして読めます。筆者には、これらの「1968年」論に接して、本学の「新しき大文化建設の揺籃たれ」との建学理念について、それを「1968年」論に見られる近代批判の文脈に据えて見るとき、その大望の趣意と実現へのアプローチの一端とその輪郭が照射されるのではないかと印象が残りました。岩岡論文の以下の説述のように「68年は・〈略〉・人間・民主主義・国家・国際社会における一切の虚構を問い直し、生命の問題、環境問題、人権問題、南北問題、民族問題などの一切のレベルでの人間の生のたしかさの回復・創造・組織

化の時代に向けての文明史上の新しい潮流の出発点であった」ならば、本理念は、四半世紀が経過した21世紀の大学人に対して、現時点での近代のあらゆる常識や想定を問い直しながら、何はともあれ気候危機の時代における地球上のあらゆる生の、不たしかさ、の増大を押しとどめる新たな価値観に基づく新しき諸関係を創造する活動にかかわるよう呼びかけていると思えます。筆者は、誠に未熟ながらも、この呼びかけへの一応答となるように、法を学ぶ一人として、「新しき大文化建設」の実現について、近代法が想定する人間の、非人間の生命存在・非生命存在としての自然存在に対するその「支配権」を、それらの諸自然存在の本来的価値が実現されるよう、少なくとも生態系がそれ自体において有する変動への強靱な順応力であるレジリエンスとその持続可能性の損壊を防止する「管理」義務を随伴するものへと変容させる法を探索するアプローチを描き出すことに思いを巡らせています。

# 〈特集〉SRPスペシャルインタビュー

全学読書運動 Soka Book Wave (以下SBW)を推進する団体として、2006年度に「Soka Reading Project (以下SRP)」が発足しました。現役のSRPメンバーとして活躍する村上さん、福島さん、西田さん、そして担当職員の鎌原さんにインタビューを行いました。

— 学生のみなさんが主体となつてのSRPの活動と伺いました。ぜひいろんなことを教えてください。まずはSRPに入られたきっかけは？

**村上さん** 本を読みたいという思いが、一番強くありました。高校時代、部活や受験勉強が重なり、本を読みたいけど読めない時期がありました。大学生になったら、絶対に本を読もうという思いから、SRPに入りました。

— SRPの募集はどうやって知りましたか。

**村上さん** ポータルサイトです。先生や寮の先輩から、ポータルサイトは絶対に確認するように言われていました。

— 事前にSRPメンバーのみなさんにアンケートを実施しました。これまでの活動では、昨年の創大祭での展示が印象に残っているとの回答が数多くありました。創大祭の準備では、どういったことが大変で、どういったところに面白さがあったのか、是非聞かせてください。

**福島さん** 創大祭準備に入るまでは、週一回の活動が主でした。しかし、創大祭前だけは本当に……。

**村上さん** 詰め込みました。やはり準備が間に合わない状況になって。そこから、みんなで集まる機会を増やし、作業したことが、思い返すと一番楽しかった思い出です。創大祭期間を通して、メンバー同士が仲良くなることができ、メンバーの絆も強まったと感じています。

**福島さん** 創大祭では、創立者池田先生の『完本 若き日の読書』を学んでの感想と、創立者が紹介されている本を展示しました。本の紹介文とともに教員やSRPのおすすすめ本も見てくださいました。

— 展示された本は、みなさんで選書されたのでしょうか。

**村上さん** はい。候補があり、その中から各自紹介したい本を選びました。

**福島さん** 高校生以下の方に向けて、本を読んでもらいたいという目的もありました。そのため、展示では、分かりやすい言葉で表現しようと工夫しました。

**鎌原さん** 創大祭期間中、70人以上の方にご来館いただき、ありがたい感想もたくさんいただくことができました。

**村上さん** 直接、声をかけてくださった方もいらっしゃいました。「よかったよ」と。ご好評いただき、



とても嬉しかったです。

— その他の活動では、本年7月の先生たちのビブリオバトルも素晴らしい企画でしたね。この先生に「お願いしよう」というのはみなさんで決められたんですか。

**西田さん** 中央図書館に普段来ない方にも来て欲しいといった思いがありました。自分の好きな先生を応援しようと図書館へ来くれるのではないかと。

**鎌原さん** 開催できて本当に良かったです。イベント後、お会いした方からも、「すごい楽しかった！もう一度開催してほしいです」といった感想もいただきました。

— 他にも印象深い活動はありますか？

**福島さん** 私は読書会が印象に残っています。昨年の文化週間に開催された読書会では、詩集や短編集に絞って読書会を開催しました。詩集や短編集などは、読みやすく、手に取りやすさがあります。

ですが、なかなか普段読む機会がなかったのですが、イベントを通して手に取ることができ、意見交換できたことがとても楽しかったです。

— 参加者はどうやって募ったのでしょうか。

**村上さん** ポータルサイトでの告知と、ポスターを各所に掲示しました。

**西田さん** あとは当日呼び込みです。

**村上さん** カウンターに来ている方に、「今、こんなイベントをやっています！」と声をかけたり。飛び込みで参加してくださった方もいました。

**福島さん** このときは、学生自治会のみなさんとコラボできたことがとても大きかったと感じています。学生自治会のみなさんの力も借りて開催できたことで、SRPの存在がどんどん大きくなってきているなど感じ、とてもワクワクしています。

**鎌原さん** SRPはコロナ禍以降、学生のリーダーが不在でしたが、本年度は7名の学生が中心となって運営しています。さらに、

インスタグラムでの情報発信も本年度から始めました。

**西田さん** インスタグラムを見ていただいている方もすごく増えてきています。これから創大祭やオープンキャンパスへ向けて、どんどん発信していけたらいいと思います。

**村上さん** インスタグラムは、学生や高校生に向けて発信していますが、親世代の方々も見ていただけて、いろんな方々にフォロワーしていただいています。これからも幅広い世代に発信していけたらと思います。

**福島さん** 他大学の方々と交流する機会があったのですが、その方々もインスタグラムを見ていただけていました。

**西田さん** 「先生（伊藤館長）が協力してくれているのいいですね」みたいなコメントもいただいています。

集者をお招きするイベントをさらに行っていきたくと思っています。

**福島さん** SRPの知名度向上を真剣に考えています。野球部や駅伝部のように「この団体に入りたいたいから、創価大学に行きたい」といった存在に、SRPもなれたらいいと思います。

**村上さん** 夢は大きいですが！

**西田さん** 私は、あと半年で卒業します。卒業してからも、SRPの活躍が、卒業生にまで聞こえてくるような存在になってくれるといいね。

**鎌原さん** SRPで活動して帰ってきてもいいね。

— 創大祭にむけて準備が加速する中、行われたインタビュー。これからのSRPの活動に大注目です！



Follow Me!



@SOKA\_LIBRARY\_SRP

ある  
図書館の  
日常  
図書館のアレコレ。中のアレコレが伝えます。

9月10日



選書ツアー

7月29日

本と過ごす夏休み  
く推し本紹介カフェ



紀伊國屋書店・新宿本店にて開催しました。選書ツアーは、学生のみならずが書店へ足を運び、図書館に置きたい本を直接選ぶ企画です。  
当日は14名の学部学生と、伊藤館長、図書館職員2名が参加しました。

SPACE日本語ライティングセンターと図書館Soka Book Wave共催のイベントを開催しました。当日は、小グループに分かれ、参加者それぞれが友人におすすめしたい本「推し本」を持ち寄り、お互いに紹介し合いました。

\* \*

最近の  
企画展示  
大図書館

8月

「新書」「文庫」を  
ウラスジで読む！



International  
Student  
Support  
Exhivision



出版社によるウラスジの出来不出来でその本の売り上げが左右されることもあるという。字数を余らせることも足りなくなることもなく定められた枠内に内容紹介を収めるのは編集者の腕の見せ所の一つ。そんなウラスジの魅力を伝えたい。

\* \*

留学生のための応援企画。3階の留学生

コーナーや書庫の多言語の読み物、また日本語習得に向けた図書など、英語での利用案内も併せて分かりやすく展示してあります。

留学生のための応援企画。3階の留学生

コーナーや書庫の多言語の読み物、また日本語習得に向けた図書など、英語での利用案内も併せて分かりやすく展示してあります。

留学生のための応援企画。3階の留学生

コーナーや書庫の多言語の読み物、また日本語習得に向けた図書など、英語での利用案内も併せて分かりやすく展示してあります。

SOKA READING PROJECT

SRP

メンバーに

聞いてみよう

SRPに参加したきが「けは？」

1年生  
現在活動しているSRPメンバーに、アンケート調査を実施！「SRPに参加したきっかけ」、「これまでの活動で印象に残ったこと」、「今後、SRPでやってみたいこと」をテーマに、現役メンバーの率直な意見を聞きました！

4年生

コロナが落ち着いて今から何か活動できる団体はないか軽く探していたタイミングで、ポータルサイトでお知らせを発見しました。

4年生

図書館の落ち着く雰囲気や、本でいっぱいなのわくわくした空間が好きでいつも利用していました。

自分の感じる図書館の魅力を、他の学生の皆さんにも広めたいと思ったからです。大好きな図書館の役に立ちたい、とも思っていました。

これまでの活動で  
印象に残ったこと

1年生

伊藤館長に、おすすめ本についてインタビューを行いました。さらにPOPを作成し、展示をしたことが思い出に残っています。

2年生

SNSのインスタグラムアカウントを開設した日が一番印象に残っています。みんなでドキドキしながらオープン。そこから地道に投稿を重ね、4か月でフォロワー500人を突破した時に、このメンバーでSNSアカウントを運用・開設できたことに、とても幸せを覚えました。

今後、SRPで  
やっていたことは

4年生

図書館全体をみて回ってもらえるようなイベントを考えたいと思っています。

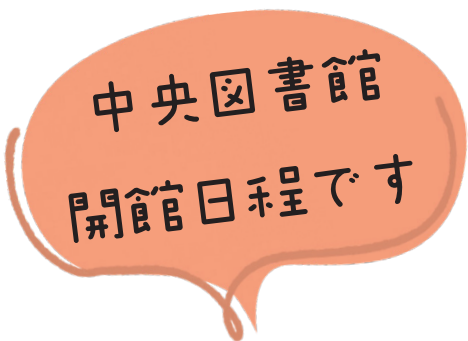
2年生

著名な作品の作家さんをお呼びしたいです。それに来館者が参加できるスペースを作りたい。図書館外での展示に挑戦してみたいです。

3年生

もっとSBWを活発化できるように大規模なイベントを企画・運営したいです！





8:30~21:00

10:00~17:00

9:00~21:00

休館

## 10

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

## 11

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

## 12

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 書庫利用講習会のお知らせ

中央図書館の書庫を利用する入庫資格を希望される方は、この講習会を受講してください。一度受講すると、入庫資格は在籍期間中（卒業まで）有効です。池田文庫をはじめ、貴重な資料と出会える機会です。ぜひ、ご参加ください。開催日時、申込方法などの詳しい情報は、図書館ウェブサイトにてお知らせいたします。

## 冬休み長期貸出のお知らせ

大学の冬季休業に伴い、図書の長期貸出が始まります。この機会にぜひ、たくさんの本に出会ってください。

学部生・別科生・短大生：2週間貸出者

12月10日（火）～12月23日（月）

教職員・大学院生・通教生：4週間貸出者

11月25日（月）～12月17日（火）

一斉返却日：2025年1月15日（水）